

その後は、4階建の科芸楼に移動し、屋上にてトマトや青物野菜を栽培する農園を見学、3階ではビロウ？の葉を使った中国無形文化財の草編みの授業に参加し中学生と一緒にブローチづくりに挑戦し、続いて書道の授業を見学しました。さらには、建物を移して教学一号棟4階にて人工衛星観測室を参観しました。

施設見学・授業参観の後に、蔣富炎校長先生をはじめ多くの主任の先生方も参加して懇談会が行われました。説明によれば、ここでも教師の質向上に力を入れており、約400名の教員の内、28%が大学院修了者(MA,Ph.D.取得者)とのことでした。

同校は、数多くの生徒が北京大学や清華大学など進学しており、特に優秀な進学高校とされる13高校の一つになっているそうです。また、2011年には同じ敷地内に別棟の国際部を新設(1学年定員60名)し、日本やドイツ、スペイン、アメリカ合衆国などとの交流を深めているとの説明でした。とりわけ、日本への修学旅行において生徒間交流やホームステイを意欲的に行いとのことでした。



同校の各種リーフレット

*盧溝橋…豊台区を流れる永定河に架かる石造りのアーチ橋。1937年、日中戦争勃発の契機となった場所。

(つづく)
校長 石飛 一吉